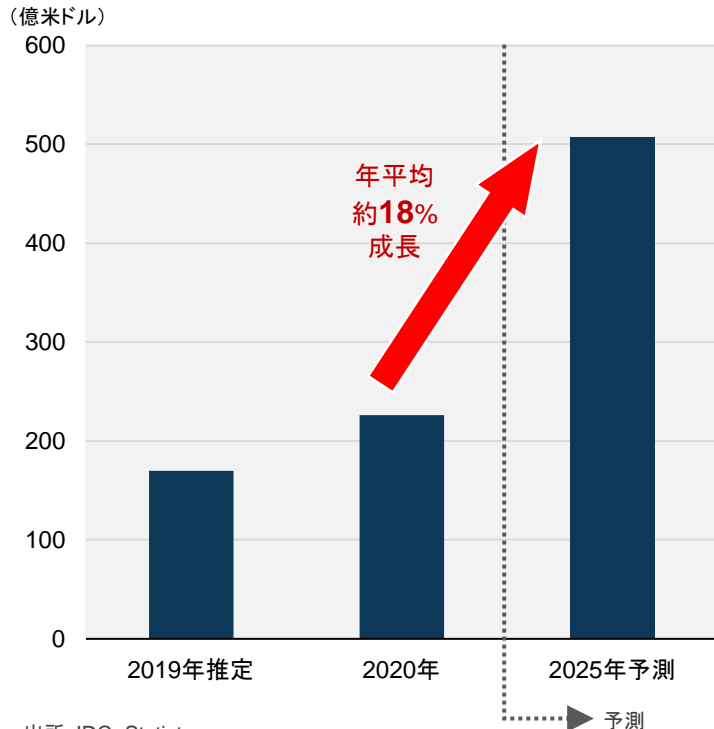


- コラボレーションアプリ*は、人と人が有機的につながりながら仕事を行い、パフォーマンスを高めていく手段の一つとして、不可欠な存在です。
 - コロナ禍以降、人との接触を避けるために、インターネットを介して視覚的な方法でコミュニケーションを図る機会が増えたことに加え、企業も蓄積されているさまざまなデータや知見を集約、分析、整理、活用するためにデジタルトランスフォーメーションを推進していることなどから、進化するコラボレーションアプリの需要は一層高まるとみられます。
- * 組織やチーム内のコミュニケーションや情報共有をサポートするツールで、社内のファイル共有やプロジェクトの進捗管理、チャット機能、Web会議システムの機能などが含まれます。

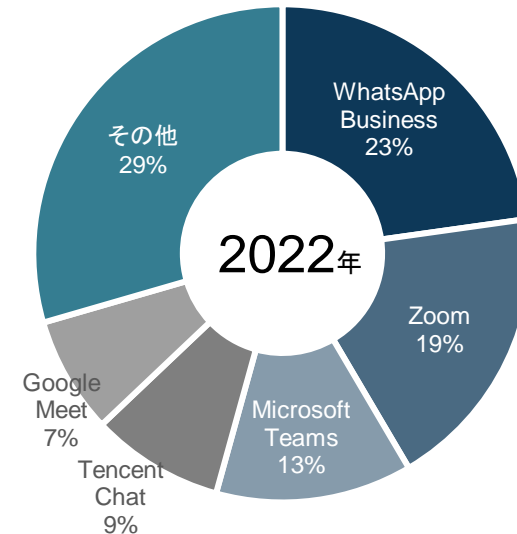
世界のコラボレーションアプリ市場規模の推移

2019年推定・2020年・2025年予測



世界のビジネスアプリダウンロード数のシェア

リモートワーク(社外での勤務形態)とオフィスワークを組み合わせ、生産性を確保しながら柔軟に働くハイブリッドワークが進む中、場所や時間を問わず、さまざまなシーンで活用できるビジネスアプリの導入が進められています。



出所: Apptopia
※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

WhatsApp Business (Meta Platforms(米国)が所有)

- メッセンジャーアプリWhatsAppのビジネス版で、中小規模のビジネスオーナーを念頭に設計されています。
- 顧客への商品・サービスの紹介や、顧客の買い物中でも問い合わせに対応することができます。

ZOOM (開発はZoom Video Communications(米国))

- Web会議に特化したアプリで、豊富な機能が搭載されており、無料版で利用できる機能も多くあります。
- 今後、クラウド電話やコンタクトセンターといった企業向けサービスに注力する方針を示しています。

Microsoft Teams (開発はMicrosoft(米国))

- Microsoft社のビジネスソフト製品と連携し易いWeb会議アプリです。
- 多言語に対応したチャットの自動翻訳機能があります。

Tencent Chat (開発はTencent(中国))

- ビデオ会議アプリとして、中国版Tencent Meetingと国際版VooV Meetingなどがあります。
- 国際版は100以上の国・地域で提供され、WeChatのアカウント経由でも、電話番号経由でも接続ができます。

Google Meet (開発はAlphabet(米国))

- Googleアカウントの利用で参加者を制限することができるなど、比較的安全性の高いWeb会議アプリです。
- Googleカレンダーとの連携やGmailでの招待といった、Googleの他のツールと連携することができます。

※公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。

ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、弊社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目録見書)をご覧ください。